

## 令和6年度第1回社会活動委員会コネクタ問題WG 議事録

日時：令和6年7月4日

場所：オンライン開催

出席者：口分田政夫 福田雅文 奈倉道明 徳光亜矢 浅野一恵 片山珠美 永江彰子

書記：永江彰子

WGのミーティングは、前回開催(2024年2月)から5か月後である。ミーティングでは、「新規格・旧規格経腸栄養製品の賢い使いわけマニュアル」2024年5月18日公開から2か月経過後の状況確認、重症心身障害学会HPへのコネクタ関連情報掲載の仕方、および、今後の情報発信として、「排液・減圧の課題」について話し合った。

まず、「使いわけマニュアル」に関して。前回ミーティング時に必要性の挙がったマニュアルは、2024年4月25日付、日本重症心身障害学会、日本重症心身障害福祉協会および日本小児在宅医療支援研究会の承認と、ISO国際議長の大村昭人先生をはじめとする各分野の11名の先生に査読頂いた形で完成した事を共有した。査読者から最も多かったのは、名称に関する疑義であった。マニュアルの公開状況として、日本重症心身障害学会の他に、日本在宅医療連合学会、重症心身障害福祉協会、日本小児在宅医療支援研究会、小児科学会リンク、小児外科学会掲載予定、研究会開催時の各メーカーからの紹介、小児外科雑誌執筆者引用などを確認している。今後、使いわけマニュアルは、重症心身障害学会誌へ論策として投稿予定。

次に、重症心身障害学会HPへのコネクタ関連情報掲載の仕方について。時々寄せられるコネクタに関する質問を一元化する目的で、google formで質問者の地区、職種、旧規格/新規格(選択肢)、質問内容等の入力フォームを作成し、学会HPにリンクさせる方法や、直接重症心身障害学会HP代表アドレスに自由形式でメールを送ってもらい、受取側が加工して、QAの形とし、「新規コネクタ移行Q and A」ver.2として、定期的に配信する方法などが、会議では挙げられた。両方法とも、対応するメンバーの時間的な制約もあり、どこまでその情報にニーズがあるかも不明である。現時点可能なこととして、マニュアルアップロードの協力機関を増やして医療従事者への情報提供を徹底する、重症心身障害学会HPのリニューアルに伴い脱落してしまったコネクタ情報を、「コネクタ問題解決までの軌跡総集編」PDFとして掲載してもらうなどの意見が出た。

最後に、消化管の減圧や排液目的とする場合の変換コネクタやISO 80369-3 シリンジの誤用について、急性期病院などではMT Japanから配信されている注意事項(下記URL)が周知されていない可能性があることを委員間で共有した。

<https://www.mtjapan.or.jp/jp/mtj/smallbore/index.php>